

まみちゃんの おうち





まきつは にちきりびです。
まみちさんは ともだちのおうちへ
めがくにいきました。
「はららていへんちちちの
まみちさんは そらにいへ
うれしそうにでかけていきました。
あたらしいおともだちが ぶきたのかち。



とまたちのおうちほ
まみちゃんのおうちと
ちがってあたらしいおうちでした。
「うぎほ、わたくしがまみちゃんのおうちに
あそびにいそいそいっ。」
とまたちにきかれて
まみちゃんほちいさく
「うん」とこたえました。





ゆうがた、まみちゃんは
かえってきました。
でも、ずとじぶんのへやで
ひとりであるみたいです。
どうしたのかな。

いほんのとき、まみちゃんは
おとうさんをこまらせることを
いってしまいました。
おとうさんのおこたごえがきこえました。
とつとつ。
まみちゃんはないてしまいました。



「どうしたら、うちのいえの
いいところを

わかってくれるのだろうね」

おとうさんとおかあさんが

はなしています。

こまっているみたいです。

まみちゃんがないたげんいんは、

わたしのことだったそうです。

「こまごまにみられるのがはまかこ
じい」





「ごきげんよう」
「ごきげんよう、ママちゃんほうれいそとに
がっこうへいきました。
けんきんちゅだみだいです。
」ママちゃんほ わたしのことを
すきにほてくれたのかな？」





これからもわたしは
かぞへのみんなをまかせよう
とくす。

おしきこ

まみちゃんのおうち

<http://p.booklog.jp/book/69506>

ご家庭の事情で、古い家を壊し新築することになっても
古い民家の素晴らしさを、思い出にしていだぎたいと思います。

著者 : t-iro

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/t-iro/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/69506>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/69506>

電子書籍プラットフォーム : ブクログのパー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社ブクログ